

再評価結果（平成30年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：村山 一弥

事業名	四国横断自動車道 阿南 <small>あなん</small> 四万十 <small>しまんと</small> 線 阿南 <small>あなん</small> ～徳島東 <small>とくしまひがし</small>			事業区分	高速自動車 国道	事業主体	国土交通省 四国地方整備局
起終点	自：徳島県阿南市下大野町 至：徳島県徳島市北沖洲					延長	17.7km
事業概要	<p>四国横断自動車道は、阿南市を起点に、徳島市、高松市を経て四国中央市において四国縦貫自動車道と交差し、高知市、四万十市を経て大洲市に至る延長約 440km の高規格幹線道路である。この路線は、四国の東南地域、西南地域のミッシングリンク（高速ネットワーク空白地帯）を解消し「四国8の字ネットワーク」を形成することで、四国における信頼性の高い道路ネットワークの確保や地域の閉塞感の解消など、広域交流と地域の「安心」と「活力」を支える重要な路線である。</p> <p>阿南～徳島東間は、新直轄方式により整備される区間であり、徳島東南地域のミッシングリンク解消のために計画されている地域高規格道路「阿南安芸自動車道」と相まって、徳島東南地域の発展に重要な役割を果たすことが期待されている。</p>						
阿南～小松島	H15年度事業化	阿南～小松島	H8年度都市計画決定	阿南～小松島	H19年度用地着手	阿南～小松島	H19年度工事着手
小松島～徳島東	H10年度事業化	小松島～徳島東	H6年度都市計画決定	小松島～徳島東	H20年度用地着手	小松島～徳島東	H27年度工事着手
全体事業費	約1,404億円		事業進捗率	36%		供用済延長	0.0km
計画交通量	16,800～22,100 台/日						
費用対効果 分析結果	B/C	1.3	総費用	(残事業)/(事業全体)	総便益	(残事業)/(事業全体)	基準年 平成29年
	(事業全体)		705/1,359 億円	1,790/1,790 億円			
	(残事業)	2.5	事業費：660/1,315 億円		走行時間短縮便益：1,495/1,495 億円		
			維持管理費：45/45 億円		走行経費減少便益：208/208 億円		
					交通事故減少便益：86/86 億円		
感度分析の結果	<p>(事業全体) 交通量：B/C= 1.1～1.4 (交通量±10%) (残事業) B/C= 2.2～2.8 (交通量±10%)</p> <p>事業費：B/C= 1.3～1.4 (事業費±10%) B/C= 2.3～2.8 (事業費±10%)</p> <p>事業期間：B/C= 1.2～1.4 (事業期間±20%) B/C= 2.4～2.7 (事業期間±20%)</p>						
事業の効果等	<p>① 円滑なモビリティの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現道等の年間時間損失の削減が見込まれる ・現道等における混雑時旅行速度 20km/h 未満である区間の旅行速度の改善が見込まれる ・現道等に当該路線の整備による路線バスの利便性向上が見込まれる ・徳島阿波おどり空港（第三種空港）へのアクセス向上が見込まれる <p>② 物流効率化の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・徳島市から徳島小松島港（重要港湾）へのアクセス向上が見込まれる ・県南部における農林水産品（阿波尾鶏、キュウリ、太刀魚、アワビ、伊勢エビ等）の流通の利便性向上が見込まれる <p>③ 国土・地域ネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方拠点都市「徳島東部」～「なんごく・こうち」を連結する8の字ネットワークの一部を構成する ・日常活動圏中心都市間を最短時間で連結する路線を構成する <p>④ 個性ある地域の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・辰巳工業団地、大湊新浜工業団地、わじき工業団地、徳島県南部運動公園の整備や展開を支援する ・徳島県LEDバレイ構想を支援する ・主要な観光地へのアクセス向上が期待される（室戸阿南海岸国定公園、室戸ジオパーク等） <p>⑤ 安全で安心できるくらしの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三次医療施設（徳島赤十字病院）へのアクセス向上が見込まれる <p>⑥ 安全な生活環境の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現道等における安全性の向上が期待される <p>⑦ 災害への備え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1次緊急輸送確保路線に指定されている現国道11号、55号が通行止めになった場合の代替路線を形成する <p>⑧ 地球環境の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CO2排出量の削減が見込まれる 						

⑨生活環境の改善・保全

- ・ NOX 排出量の削減が見込まれる
- ・ SPM 排出量の削減が見込まれる

⑩他のプロジェクトとの関係

- ・ 徳島小松島港津田地区地域活性化計画と連携
- ・ マリンピア沖洲整備計画と連携

関係する地方公共団体等の意見

- ・ 徳島県、徳島市、小松島市、阿南市、阿南市高規格道路建設促進期成同盟会等より、本事業の整備促進について、積極的な要望活動が続けられている。
- ・ 徳島県知事の意見
「四国横断自動車道 阿南四万十線 阿南～徳島東」の事業を継続するという「対応方針（原案）」については、異議ありません。
「四国横断自動車道 阿南四万十線 阿南～徳島東」は、「地域高規格道路 阿南安芸自動車道」とともに、「四国8の字ネットワーク」を形成し、安全・安心を確保する「命の道」となることはもとより、経済・産業の発展、観光振興など「地域創生の礎」となる重要な道路であります。
このため、引き続き、コスト縮減を図り、平成32年度の「津田～徳島東」区間の開通に向けた事業推進と残る区間の早期供用をお願いします。

事業評価監視委員会の意見

- ・ 「事業継続」とする事業者の判断は「妥当」である。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・ 平成23年 3月 (主) 徳島環状線 川内町大松～平松 延長1.3km 開通
- ・ 平成23年 4月 桑野道路事業化
- ・ 平成23年 7月 日和佐道路 延長3.1km 2車線 開通
- ・ 平成24年 4月 阿南安芸自動車道 福井道路 延長9.6km 事業化、松茂スマート IC 許可
- ・ 平成24年 12月 (主) 徳島環状線 川内町平松～住吉 延長3.7km 開通
- ・ 平成27年 2月 徳島南環状道路 上八万 IC～法花 IC 延長1.9km 開通
- ・ 平成27年 3月 徳島自動車道 鳴門 JCT～徳島 IC 延長10.9km 開通
- ・ 平成27年 7月 津田 IC(仮称) 連結許可

事業の進捗状況、残事業の内容等

- ・ 用地進捗率79%、事業進捗率36% (平成29年3月末時点)

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- ・ 阿南 IC(仮称)～小松島 IC(仮称)間は、トンネル、橋梁工事等に着手しており早期開通に向け工事推進中。
- ・ 小松島 IC(仮称)～津田 IC(仮称)間は、用地買収推進中。
- ・ 津田 IC(仮称)～徳島東 IC(仮称)間は、橋梁工事等に着手しており、H32年度開通目標。

施設の構造や工法の変更等

- ・ 今後も新技術、新工法の採用による工事コストの縮減に加えて、施設の長寿命化や維持管理を考慮した構造の採用等、総コストの縮減に努めていく。

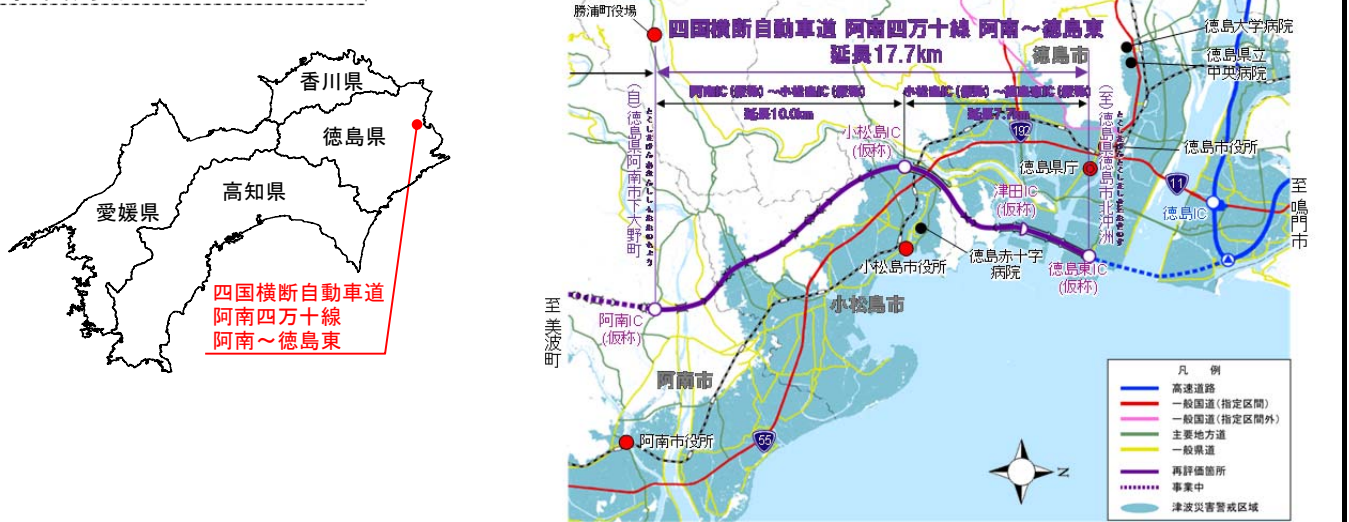
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

- ・ 以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。